



# ボランティア・市民活動情報誌 OITA ぼらのたね

URL ☎ <http://www.coara.or.jp/~oitavoc/> E-mail ✉ [oitavoc@fat.coara.or.jp](mailto:oitavoc@fat.coara.or.jp)

発行所

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会  
大分県ボランティア・市民活動センター  
〒870-0907  
大分市大津町2丁目1番41号

お問合せ先

TEL (097) 558-3373  
FAX (097) 558-1296

2005 OCTOBER  
No.2

## 福祉ボランティア専門研修 実施団体決定!!!



今年の5月より一般公募していた「福祉ボランティア専門研修」実施団体の審査会が、8月24日に大分県総合社会福祉会館で開かれました。審査の結果、実施を希望する16団体のうち9団体が企画した研修に助成をすることが決定しました(写真は審査会の様子)。

### ■受託団体募集の経緯

これまで県では、6年間にわたり地域のボランティア活動をリードする人材の養成とボランティア活動の広がりを目指して「福祉ボランティア大学校」を実施していましたが、地域ごとの福祉課題に沿った研修を希望する声が高まってきたことから、地域の福祉ニーズに応えられる専門性の高いボランティアを育成し、ボランティア団体やNPO法人、当事者団体等の活動の充実・活性化を図ることを目的として、今年度から研修の委託団体を募集しました。

受託団体の応募資格は次のとおり。

- ① 県内の非営利団体  
(法人格の有無は不問)
- ② 原則として1年以上の活動実績があること
- ③ 会員が10人以上いること
- ④ 10人以上のボランティアを新規に養成すること

### ■知識を深め、地域のために…

委託が決定した団体の一つ、豊後大野市のボランティアグループ「千歳町 助け合いの会」の代表廣末さんは、今回の専門研修への応募動機について次のようにお話されています。「現在、私たちの住む豊後大野市千歳町では住民の多くが高齢者となり、健康に不安を抱える人が増えています。なかでも認知症の症状が出る人が増加傾向です。認知症の方が、家の外を徘徊するようになると、その家族だけでケアすることは困難であり地域の人たちの協力が必要となってきます。しかしながら、私たちは認知症についての知識に乏しく、もし自分の家族に、あるいは隣近所にそのような方がいたらどう対処してよいのか戸惑うばかりで、さまざまな症状を誤解してしまうこともあります。」

そこで現在取り組んでいる「高齢者サロン活動」をさらに活発にし、認知症の方でも安心して参加できるよう、専門知識を持った会員や新規のボランティアを多く育成して、支援の輪を地域に広げていく研修内容を企画しているそうです。

# 福祉ボランティア専門研修委託決定団体 一覧

各研修についてのお問い合わせは県ボラまで

申請団体名	専門研修名	内 容
臼杵市ボランティア 連絡協議会野津支部 (臼杵市)	野津町生き生きクラブ	各地域でお年寄りが集い、気兼ねなく楽しく過ごせる「いきいきサロン」のリーダーを育成
千歳町「助け合いの会」 (豊後大野市)	認知症理解の専門研修会	「高齢者サロン」に認知症の方も受け入れるために、コミュニケーション学習や認知症についての基礎知識・予防について研修
社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会 (佐伯市)	手をつなごう！親子で、 みんなで、子育て応援隊	「子育てサロン」の託児ボランティア関係者の意識及び知識の向上と協力者の養成
社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 (玖珠町)	子育て支援事業 リーダー養成研修	町内在住の乳幼児を抱える親を対象にした「子育てサロン」のリーダー的なボランティアの育成
NPO法人 福祉の森(別府市)	福祉コミュニティ ボランティア育成研修	同法人運営の「地域福祉サロンあい・あい」での活動を中心とした非営利活動を研修し、その輪を各地域に活かす人材を育成
NPO法人 うさぎとかめ(大分市)	町民みんなで育てる 福祉ボランティア研修	大分市緑が丘団地で同法人運営の「宅老所」を中心に高齢者支援の担い手を育成
市民互助型在宅福祉団体 「ふれ愛・中津」(中津市)	心身機能活性運動療法 ボランティア養成講習会	介護予防のための「心身機能活性運動療法」を修得し指導できる専門者を育成
市民互助団体 「たすけあい・はやみ」 (日出町)	障がい者および高齢者 支援	同団体が実施する「住民参加型在宅福祉サービス」の活動を拡大するために必要な活動会員を養成
大分市ふうせんバレー (大分市)	障害者支援 ボランティア研修	ふうせんバレーやパソコン操作を指導するボランティアを育成し、障害者(児)の社会参加や生きがいづくりを支援する

「千歳町助け合いの会」のように地域の問題に気づき自分たちの問題として考え、行動する人が増えていくと、住み慣れた地域でずっと生活できますね。「千歳町 助け合いの会」をはじめ、専門研修委託団体の今後の活躍に期待しています。

この福祉ボランティア専門研修の実施団体の公募は来年度も実施する予定です(※募集する専門研修のテーマは福祉分野に限ります)。ボランティア・NPOのみならず、ふるってご応募ください!

## 数字で見る 特 集 記 事

大分県福祉ボランティア大学校 **受講生数 1215人**

H11年度～16年度まで県が実施。大学校の卒業生の中にはNPO法人を設立した人も!まさにリーダー養成の場としての役割をもっていました。

「高齢者」を専門研修テーマとした団体 **6団体(重複含む)**

応募申請のあった16団体のうち6団体が高齢者に関する研修を企画・応募しており、テーマとして一番多い分野でした。

福祉ボランティア組織づくり支援講座 **修了者数 66人**

H15年度より、ボランティア大学校卒業生のための講座として開講。この講座の修了生はOB会を設立し、地域のボランティア活動の活性化や助け合い組織設立などのために活動しています。



活動場所を地図を使って説明

▼今年も台風災害で世界的に被害が拡大しています。大分県内でも台風14号により、死亡者・行方不明者が出ました。みなさんの、大切な命や財産を一瞬のうちに奪ってしまふのが「災害」です。繰り返し起こるこの「災害」、なんとかならないものでしょうか？今回は地域でできる「なんとか」を一緒に考えてみたいと思います。▼「ボランティアコーディネーター」とは、「調整役」とか「つなぐ人」という意味なのですが、この方たちの動きによって「災害」による被害が軽減でき、災害が起こったあとの支援がスムーズに行われ、復旧・復興が早いということが、これまでの被災地の検証によってわかっています。じゃあ、どんな活動とお思になるでしょうか。災害ボランティアコーディネーターが活動する場面にはいろんな段階があります。今回お伝えしたい活動で重要なのが日常生活。みなさんが日頃行っている活動や地域での役

割を見直してみてください。まったく「災害」とは関係ないと思っている活動が、実は深く関わっていることが多いのです。▼例えば、月に一回地域の高齢者の方々と昼食を囲んでお楽しみ会等の活動をしている方。活動の時に、みなさんの方から「台風は怖かったですね」の会話から始めると、「どうしていましたか？」「避難所はご存知ですか？」「歩いて避難するのに、どれくらいの時間がかかりますか？」「近所で一緒に避難してくれる人はいますか？」など、話はどんどん膨らみます。この時、近所の避難場所をお伝えしたり、「災害」にあつた時の行動や情報の発信を一緒に考えてみたり、いろいろなことが出来ます。そして同時に、自分たちだけで出来ないことや困ったことが具体的に現れてきます。それに対して現在可能な周りのサポートを考え、対策を講じておくようにする。このような掛けや活動も「災害ボランティアコーディネーター」。日常に災害をつなぐ活動です。災害が起こる前から対策が、連絡体制が、情報の発信がみんな確認されている地域は当然被害も少ないのです。▼今、被災地で日頃から地域に根ざした活動をしている方々による、コーディネーターの必要性が強く叫ばれています。被災者と顔見知りであり、地元地理に詳しい災害ボランティアコーディネーターの存在で、支援が必要なおところに必要なだけの物資や人員等の派遣ができるため、早期の復旧・復興につながります。また、一番大変な時期にボランティアの支援を受け

ることで「今後の不安に立ち向かう勇気ももらった。」とも報告されています。災害に遭って、毎日毎日活動しても一向に片付かなければ、誰だつて疲れ果てて希望を失いかけてしまいますよね。地域に「災害ボランティアコーディネーター」がいるということは、大変重要なことなのです。だからといって特別な活動である必要はありません。みなさんの日常の活動に「災害」をプラスするだけでいいのです。具体的に自分の活動とどう結びつくのかと疑問に思う方は、微力ではありますがお手伝いができると思いますので、当センターまでご連絡ください。一緒に考えていきましょう。▼自然災害は必ず来ます。まぬがれないのであれば、「減災」(被害を小さくする)し、早期の復旧・復興にむけて日常から地域の力を集結しなければなりません。そのためには、一人ひとりが自分の出来ることを自覚し、準備し、コーディネーターが調整し、いろいろなおくとと連携して災害を地域で乗り切る用意が必要です。(写真は宮崎市の台風14号被災地での災害ボランティアコーディネーター活動風景)



ボランティアを受付

# ぼらのねた

## ボランティア・市民活動に役立つマメ知識

絵本を届ける運動  
<http://www.jca.apc.org/sva/ehon/index.html>

SVAから届く絵本セット  
 写真提供:シャンティ国際ボランティア会



アジアで教育文化支援活動をしているシャンティ国際ボランティア会(SVA)の「カンボジア・ラオスの子どもたちに絵本を届ける運動」を紹介します。これは日本語で出版されている絵本にカンボジア・ラオス語の訳文を貼り付け、現地の子どもたちに届ける運動で、誰でも気軽に、日本にいながら参加できる国際協力ボランティア活動です。

カンボジアでは1970~80年にかけて内戦やポル・ポトによる恐怖政治の影響で多数の死者や100万人以上の避難民が発生。SVAは1980年にタイのカンボジア難民キャンプで、心に深い傷を負った子どもたちに絵本の読み聞かせを行うことから活動を始め、その後、1人でも多くの子どもが絵本を手にするを願い、1999年から「絵本を届ける運動」をスタートしました。

文字への興味、未来への夢、穏やかな時間...日本から届けられる絵本は子どもたちにどれだけ多くのもをもたすのでしょうか。あなたも親子で、職場で、学校で参加しませんか?詳しい内容や参加方法はSVAのHPをご覧ください。

# ボラけいじばん

## 県ボラ主催行事

いずれの研修会も、お申し込み・お問い合わせはお住まいの市町村の社会福祉協議会、または県ボラまで。

### 平成17年度 大分県ボランティアリーダー研修会

日時／平成17年12月2日(金)  
10:30～16:00  
会場／大分県総合社会福祉会館  
大ホール  
講師／菊池 修 氏  
(特定非営利活動法人えひめ  
NPOセンター 代表理事)  
内容／グループマネジメントにつ  
いて1日かけてじっくり学びます  
対象／グループ運営にお悩みの  
ボランティアグループ・NPOの  
リーダー 100名

### 企業・団体の社会貢献 ボランティア活動研修会

日時／平成17年12月8日(木)  
13:00～16:00  
会場／大分県総合社会福祉会館大ホール  
講演／「企業の社会貢献・ボラン  
ティア活動への取り組み」(仮題)  
～企業のCSRが問われ  
評価される時代～  
講師：川北秀人氏  
I I HOE代表者  
対象／企業・団体(労働組合)等の  
社会貢献担当者等

### ■チャリティ企画

#### 「現代国際巨匠絵画展」

#### ボランティア募集

来場者受付、会場整理などの簡単な  
活動内容です。収益金の一部は「お  
ぎゃー献金」に寄付されます。  
主 催／NPO法人ゆうゆう(大分市)  
活動場所／大分県Iichico総合文化  
センター(大分市高砂町)  
活動日／平成17年10月28日(金)  
29日(土)・30日(日)  
活動時間／上記活動日のいずれの日  
も9:30～13:00または  
13:00～16:30  
募集人数／各時間帯とも10名  
(※18歳以上の方)  
しめ切り／平成17年10月25日(火)

### ■キリン福祉財団

#### 平成18年度公募助成

公募テーマ／地域における子育て支援  
ボランティア活動  
対象団体／地域福祉活動を目的とす  
る民間団体に4名以上の  
メンバーが中心となって  
活動するグループ(法人  
格の有無は問わない)  
助成金額／1団体あたり30万円  
(総額2,300万円)  
募集期間／平成17年9月21日(水)  
～11月22日(火)  
<お問い合わせ>  
(財)キリン福祉財団事務局  
TEL 03-5540-3522

### ■一家に1冊!

#### 「震災対応BOOK」配布中です



大分県災害ボラン  
ティア監修「福岡県  
西方沖地震から学  
ぶ!大分発 震災対  
応BOOK」がセキ  
スイハイム九州大  
分支部から発行されました。これま  
でに発生した大地震から得られた  
知識や教訓を分かりやすくコンパ  
クトにまとめたマニュアル本です。  
ご希望の方は、セキスイハイム九州  
大分支部のホームページ

<http://www.oita816.com/>

からお申し込みください。

### ■平成18年度

#### 「青年長期ボランティア計画」

#### 参加者募集

(社)日本青年奉仕協会では「青年長  
期ボランティア計画」の参加者を募  
集しています。参加者は約1年間、  
日本各地の教育、福祉などに関わる  
団体や期間に派遣され、活動。参加  
期間中は住居や食事が提供されます。  
募集対象は18～30歳の男女で、資  
格や経験は不問。10月30日に大分  
市で体験報告会を開催します。  
<お問い合わせ>  
同協会(E-mail:v365@jyva.or.jp  
TEL:03-3460-0211)まで。  
しめ切り／平成17年12月1日(木)

## 収集

### ボランティアさんいつもありがとう

使用済みテレフォンカード、使用済み切手、書き損じハガキの収集、等にご協  
力いただいた皆さんをご紹介します。(敬称略)

- 木藤 智樹 ●佐藤 明良 ●蔵本 達雄 ●大分市テニス連盟
- アウトドアスポーツワールド山溪

### ボランティア・市民活動についてのご相談・お問合せは…

社会福祉法人 大分県ボランティア・市民活動センター  
大分県社会福祉協議会

#### ■開所時間

月曜日～金曜日 8:30～17:15  
〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号  
TEL(097)558-3373・FAX(097)558-1296

#### ■ボランティア・市民活動ルーム開室時間

月曜日～土曜日 9:00～20:30  
日曜日、水曜日 9:00～17:00  
平日の17:00以降及び土、祭日は事前に予約

<http://www.coara.or.jp~oitavoc/> E-mail:oitavoc@fat.coara.or.jp

## 編集 後記

「どこでボランティア情報を得  
られるのか分からない」とよく聞  
きます。そのたびにウチもまだま  
だ知名度低いなあとガックリ。でもボラン  
ティア募集依頼は増える一方。そこで担当  
者は奮起して、最近いろんな試みを実験し  
てみました。その一つ、県ボラ事務室前の廊  
下にボラ募集のチラシを置いてみたところ  
「ミツバチ作戦」、先日、早速反応が!まさに  
千里の道も一歩から、小さなことでも発信  
し続けることに意味があるんですね。